

「伊勢崎市公共下水道全体計画（汚水）見直し（素案）」に関するパブリック

コメント手続の結果

意見の募集期間	令和7年5月7日 ～ 令和7年6月5日
意見の提出者数	3人
意見の件数	4件
意見の要旨の数	4件
担当部課	上下水道局下水道整備課
電話	0270-27-2777（内線62）
ファックス	0270-21-1101
電子メール	gseibi@city.isesaki.lg.jp

伊勢崎市公共下水道全体計画（汚水）見直し（素案）に関するパブリックコメント手続を令和7年5月7日（水）から令和7年6月5日（木）まで実施し、3名の方から4件のご意見・ご提案をいただきました。

お寄せいただいたご意見等について、市の考え方を次のとおり公表します。

寄せられたご意見等の要旨とそれに対する市の考え方について次のとおり公表いたします。

1 《全体計画見直しの必要性》 についての意見等

番号	意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
1	<p>120年の計画は受け入れられないので、見直しは賛成である。</p> <p>公共下水道（集中型）の場合、大きな不具合等により多くの世帯が関係しますが、合併浄化槽（分散型）だと一部の世帯で済む。</p> <p>私の考えは分散型がよいと考え、地方（伊勢崎）では合併浄化槽で良いと思う。</p> <p>縦の住まい（マンション・ビル）が密集している都会は公共下水道とし、私の近所は横の住まい（戸建て）が多く、現状（合併浄化槽）で満足している。</p>	<p>汚水処理人口普及率の向上のためには、地域に適した整備手法を選択することが重要です。今回の見直し素案では、将来の人口減少を踏まえ、下水道と浄化槽との経済比較を基本とした検討を行い、市街地等家屋がまとまった区域について、下水道による汚水処理を行うこととしています。</p>

2 《全体計画区域（素案）》 についての意見等

1	<p>私の住んでいる地区は下水道が使用できないため、地区単独で作った。昭和50年代半ばに完成し現在に至っている。今までに大きな修理はなく、年間数回の清掃と複数のマスを業者により清掃している。</p> <p>これから施設の修理や老朽化を考えると不安がある。現在は地区の下水道組合は解散し、組単位で行っている。</p>	<p>今回の見直し素案では、将来の人口減少を踏まえ、下水道と浄化槽との経済比較を基本とした検討を行い、家屋が散在している等の理由により集合処理である下水道の整備が非効率となる区域について、浄化槽による汚水処理を行うこととしています。</p> <p>お住いの地区につきましては、今回の素案では、浄化槽による汚水処理を行う区域としてい</p>
---	---	---

別記様式 4

	<p>市の管轄下に入れていただき、経済的負担を少しでも軽くしたい。</p>	<p>ます。ご理解賜りますようお願い申し上げます。</p>
--	---------------------------------------	-------------------------------

3. 《その他》の意見等

番号	意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
1	<p>困ることは、道路わきの側溝に砂等がたまり、排水しづらくなる事です。</p> <p>側溝の維持管理を、公共化したらうれしいです。例えば、ごみ収集の様に側溝の砂除去を仕事とする事業を下水道処理等に係る予算で対応してはいかがでしょうか。</p>	<p>道路側溝の維持管理は、道路管理者が行っています。今後も下水道事業として側溝の砂除去等を行う予定はありません。</p>
2	<p>オートレース場周辺は、商業区域で人口も多くなって来ている。特に脂を使う飲食店や、ホテルなど既存の浄化槽だけでは、水が浄化出来ていなく、かつての農業用水路が、下水道のような、ドブ川になっているようにも思う。有機物を含んだ水の有効活用と最終処分場のない生ゴミの有効活用として、伊勢崎市の下水処理場にあるような、再エネでもあるバイオガス(車両や都市ガス利用)製造と田畑への液肥利用(膨大なエネルギーをかけて海外から持ってくるよりもカーボンニュートラルで良い)が出来、匂いのないバイオガス施設を街中に作ることも可能である。遊休農地をバイオマス作物を産出する場として活用し、効率は低いと思われませんが、地域で循環する仕組みを考えて行くべきと思う。このような政策を効率的に進めていくためにも、環境に優しい住みやすい街づくりとして、公の大学や研究機関、事業者、農家、地域住民などと共働して実証してゆくべきと思う。</p>	<p>今回の見直し素案は、将来の人口減少を踏まえ、浄化槽との経済比較を基本とした手法を用いて、下水道による汚水処理を行う区域を設定するものです。オートレース場の周辺につきましては、今回の素案では、下水道による汚水処理を行う区域としています。</p> <p>ご意見にあるとおり、本市の下水処理場(伊勢崎浄化センター)では下水汚泥由来のバイオガスによる発電を行っており、その電力を処理場内で自家消費しています。また、伊勢崎浄化センターで発生した下水汚泥をセメント原料として利用するなど、資源の有効活用に取り組んでいます。</p>